

## 令和5年度青森県公立学校教員採用候補者選考試験 前年度からの主な変更点等

### 1 採用見込数

校種等	R5年度(今年度実施)	R4年度(昨年度実施)	前年度比
小学校教諭	約130人	約110人	+20人
中学校教諭	約80人	約65人	+15人
高等学校教諭	約20人	約30人	△10人
特別支援学校教諭	約40人	約40人	増減なし
養護教諭	約5人	約10人	△5人
栄養教諭	若干名	若干名	—
合計	約275人	約255人	+20人

(参考 H30年度～R3年度の採用見込数)

校種等	R3年度	R2年度	H31年度	H30年度
小学校教諭	約120人	約130人	約110人	約100人
中学校教諭	約65人	約60人	約40人	約35人
高等学校教諭	約35人	約50人	約65人	約50人
特別支援学校教諭	約35人	約30人	約30人	約30人
養護教諭	約15人	約15人	約25人	約25人
栄養教諭	若干名	—	—	—
合計	約285人	約285人	約270人	約240人

### 2 高等学校教諭及び特別支援学校教諭(高等部)の募集教科(科目)

#### (1) 高等学校教諭

今年度募集する教科(科目)	今年度新たに募集する教科(科目)	昨年度実施したが今年度は募集しない教科(科目)
国語、公民、地理歴史、数学、物理、化学、生物、 <u>美術</u> 、 <u>書道</u> 、保健体育、家庭、英語、農業(作物・園芸・ <u>食品化学</u> )、工業(土木)、工業(建築)、水産(水産食品)、水産(水産工学)、情報 〈18教科(科目)〉	美術 書道 〈2教科(科目)〉	音楽 商業 工業(電気・電子) 工業(機械・電子機械) 看護 〈5教科(科目)〉

#### (2) 特別支援学校教諭(高等部)

今年度募集する教科(科目)	今年度新たに募集する教科(科目)	昨年度実施したが今年度は募集しない教科(科目)
国語、公民、地理歴史、数学、物理、化学、生物、 <u>美術</u> 、 <u>書道</u> 、保健体育、家庭、英語、農業(作物・園芸・ <u>食品化学</u> )、情報 〈14教科(科目)〉	美術 書道 〈2教科(科目)〉	音楽 〈1教科(科目)〉

### 3 人物評価方法の変更

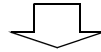
第一次試験の日程を筆記試験のみの1日とし、第二次試験における人物評価を、模擬授業・個人面接から集団討論・個人面接に替えて実施します。

<従来の日程>

第一次試験（2日間の日程）	第二次試験（2日間の日程）
① 筆記試験 ・一般・教職教養試験 ・専門教科試験 ・特別支援教育に関する事項 ② <b>集団討論</b>	① 面接（ <b>模擬授業</b> ・個人面接） ① 適性検査 ② 小論文 ③ 実技試験 ・小学校（音楽・体育） ・中学校・高等学校（音楽、美術、書道、保健体育、家庭、英語）

※ 令和3年度及び4年度（令和2年度及び3年度実施）の第一次試験において、集団討論の会場が密になるため実施を中止した。（1日の日程とした。）

また、第二次試験において、小学校の実技試験の実施を中止した。



<変更後の日程>

第一次試験（1日の日程）	第二次試験（2日間の日程）
筆記試験 ・一般・教職教養試験 ・専門教科試験 ・特別支援教育に関する事項	① 面接（ <b>集団討論</b> ・個人面接） ② 適性検査 ③ 小論文 ④ 実技試験 ・小学校（音楽・体育） ・中学校・高等学校（音楽、美術、書道、保健体育、家庭、英語）

※ 小学校受験者（併願者を除く。）のうち、現に国立学校又は他都道府県等の公立学校において小学校の正規の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭（任期付又は臨時的任用である者を除く。）であり、令和5年3月31日現在で3年以上の経験を有する者は、第一次試験が免除となる。

### 4 高等学校家庭における調理師資格所有者を対象とした社会人特別選考

高等学校の家庭科教員において、調理師資格所有者を対象に社会人特別選考を実施します。

区分	校種等	教科 (科目)	受 験 資 格
社会人 特別選考	高等学校	家庭	1 民間企業等に、正職員として、令和4年5月31日までに5年間以上の勤務経験を有する者（私立学校教員や専門学校講師などとして教育に関連する事業等に從事する期間を除く。） 2 出願時に調理師の資格を有する者 3 高等学校家庭の普通免許状を有しない場合は、上記1、2に加え、特別免許状の取得要件及び出願時に3年間以上調理に関連する業務又は調理の実務経験を有する者

### 5 試験会場の変更

第一次試験会場であった青森中央高等学校を、青森北高等学校に変更します。